

全国学力・学習状況調査 生徒質問調査より

○学校に行くのは楽しいと思いますか。

実施年度	荒牧中学校	全国
R6 年度	89.1%	83.8%
R5 年度	84.3%	81.8%
R4 年度	77.4%	82.9%

○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

実施年度	荒牧中学校	全国
R6 年度	90.1%	90.4%
R5 年度	88.8%	87.3%
R4 年度	80.8%	86.6%

○人が困っているとき、進んで助けていますか。

実施年度	荒牧中学校	全国
R6 年度	93.5%	90.1%
R5 年度	93.3%	88.1%
R4 年度	89.9%	88.4%

○将来の夢や目標をもっていますか。

実施年度	荒牧中学校	全国
R6 年度	77.1%	66.3%
R5 年度	75.4%	66.3%
R4 年度	65.6%	67.3%

○自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。

実施年度	荒牧中学校	全国
R6 年度	75.4%	76.2%
R5 年度	74.3%	77.6%
R4 年度	71.2%	76.9%

学校評価アンケートより

○授業は分かりやすく楽しい。

実施年度	荒牧中学校
R5年度	87.9%
R4年度	84.8%

○学校の授業以外に普段どのくらい勉強しますか。（2時間以上）

実施年度	荒牧中学校
R5年度	25.4%
R4年度	20.5%

○コミュニケーション・トレーニングを通して、

「書く力・聞く力・話す力」がより身に付いたと思う。

実施年度	荒牧中学校
R5年度	81.3%
R4年度	81.3%

R5年度 ROSE タイムアンケートより

- ROSE タイムを通して、得意・不得意な教科に関わらず、学習に対する意欲が上がった。⇒78%
- ROSE タイムを通して、人に教えたり伝えたりするときは、相手が理解しやすいような説明を心がけるようになった。⇒99%
- ROSE タイムで配布された問題以外に、STに合わせて事前に問題を考えるなど準備ができた。
※対象：チューター⇒70%
- ROSE タイムを通して、分からない問題はそのままにせず、相手に聞けるようになってきた。
※対象：ST⇒96%

ROSE タイムのふり返し（一部抜粋）

チューター(教える側の生徒)

○ 自己肯定感の向上

- ・ 今までリーダー的な役割や、何かを人に教える機会がなかったから、ROSEタイムで経験できて良かった。これを機に積極的に取り組んでいきたいです。
- ・ 人に教えることが好きなので貴重な体験をできました。最初は全然分かってもらえてなかったけど回数を重ねるごとに教え方がわかってきてSTが全問正解してくれて自分自身もすごく成長しました。
- ・ 人に教えることで、教育の分野に興味がわいてきました。

○ 学力の向上

- ・ 数学の言葉を使って教えることができたし、今まであいまいだったところが説明をすることで自分もしっかりと理解することができました。
- ・ 授業で習ったところも、いざ人に教えるとなると意外なところが抜けていたり、分からないところがあったりするから、日頃の授業からもっとしっかり受けようと思いました。
- ・ 相手の間違ったところ、分からないところを理解して教えるのは難しく、またその質問にスムーズに答えることができなかったりしたので、予習をすることが増えました。
- ・ 人に数学を教えることで、数学を勉強（復習も）しようという意欲が高くなりました。
- ・ 教えることや数学を勉強する意欲が高くなりました。

○ コミュニケーション力の向上

- ・ どうすればSTが分かるようになるかを考え、説明することは自分の成長にも繋がると思いました。
- ・ 相手の目線に立ち言葉を使う力が身に付きました。

ST(教わる側の生徒)

○ 自己肯定感の向上

- ・ 数学がちょっと好きになって、結構できるようになって嬉しかったです。できた達成感と嬉しさを知ったのでこれから楽しく数学ができそうです。
- ・ 問題に向き合おうとする気持ちが（無理だと思っても考えてみようという気持ち）が前より少し増えました。

○ 学力の向上

- ・ 分からない所をそのままにせず、聞いたり考えたりすることで、解ける問題が増えてテストにも繋がりました。最初は緊張したけど段々ROSE タイムが楽しく感じました。自分は成長したと思います。
- ・ 数学についてわからなかった単元も先輩が教えてくれたことによって、理解が深まり、勉強が楽しいと思うようになりました。
- ・ 計算が速くなって、数学が以前に比べて好きになりました。
- ・ 苦手な数学も自分からやろうと思いました。

○ コミュニケーション力の向上

- ・ 問題をちょっとでも多く解けるようになったり、分からないところはすぐにチューターの人に聞けるようになったり、数学の力だけでなくコミュニケーション能力も上がりました。
- ・ 質問ができるようになり、相手の説明をちゃんと聞けるようになりました。

[コミュニケーション・トレーニング“コミトレ”の問題例]

聞く力のスキルアップ

コミュニケーション・トレーニング No 1 6 (令和5年9月12日)

年 組 氏名

共通点と相違点

＜問題＞ 消費期限と賞味期限について、表にまとめてみましょう。(各1点)

期限表示の大前提

①

相違点

	消費期限	賞味期限
意味の違い	②	③
期限を過ぎたら	④	⑤

おまけ⇒『常識』とは？

⑥

＜自己評価＞

1 集中して聞くことができたか

2 要点的メモがうまくできたか

3 内容をしっかりつかむことができたか

(評価は○△×)

得点合計

6

採点者 氏名

書く力のスキルアップ

コミュニケーション・トレーニング No 2 7 (令和5年12月5日)

年 組 氏名

どちらが選び理由を伝え合う

＜問題＞

すべての乗客の運人になれるか、すべてのスポーツの運人になれるか。

どちらか選んでその理由を2つ以上書きなさい。

＜書き始め＞ 私は、すべての〇〇の運人になりたいです。理由は〇つあります。

1つ目は…

〇基準の線(太線)までを丁寧に書くこと

＜評価の基準＞

1 基準の線まで書けているか。(2点)

2 書き始めは、指示どおりか。(2点)

3 理由が2つ以上書かれているか。(2点)

4 文字が正しいか、読みやすいか。(2点)

得点合計

8

採点者 氏名

＜自己評価＞

1 基準の線まで書けているか

2 相手に伝わりやすい表現を心がけたか

3 理由が2つ以上書かれているか

4 読み手に伝わったと思うか

(評価は○△×)

得点合計

8

採点者 氏名

話す力のスキルアップ

コミュニケーション・トレーニング No 3 7 (令和6年 2月29日)

年 組 氏名

荒中好きな場所討論会

荒中中学校で好きな場所を1つあげて、ペアとどちらの場所が魅力的かを話し合います。

＜問題＞

卒業式が迫ってきました。3年生は、今まで通ってきたこの学校とお別れになりますね。

そこで今回は、「荒中お気に入りのスポット」を1つ決めて、どちらがより魅力的かを討論してもらいます。

＜方法＞ ペアで行います。

1 メモ欄に、お気に入りのスポットを1つ書きます。(30秒程度)

2 なぜその場所が好きなのか、箇条書きで書きます。(1分程度)

3 話すときは、机を離れて、お互いに正面を向き合います。

4 相手の目を見て話します。

5 相手は、話を聞いて、相手に話します。

6 聴く人は、相手を打ったりしながら、しっかりと聴きます。

7 1人が話し終わったら、それに対して反応をします。

8 反応されたら、それに対して応答をします。

9 お互い2分ずつ、好きな場所を語りつくしてきましょう。

10 下の項目に沿って評価しましょう。

＜評価の観点＞ 相手の人に評価してもらいましょう。

1 メモばかり見ないで、相手を見て、しっかりと話していたか。

2 良いところを3つ言っていたか。

3 熱意が伝わってきたか。

4 わかりやすい話し方だったか(声・速さ等)。

5 適切な言葉を選んで話していたか。

(各1点)

得点合計

5

採点者 氏名

＜自己評価＞

1 相手のことを思いやりながら話せたか。

2 熱意を込めて話せたか。

3 相手の反応をみながら話せたか。

4 相手を納得させたと思うか。

(評価は○△×)

得点合計

5

採点者 氏名

[ROSE タイム Thank you メッセージ (チューター・ST へ感謝のメッセージ) の校内掲示]



[“ROSE ボード”で研究の取組を可視化]



[チューター任命証]



※ 昨年度提出資料（ROSE タイム実施にあたっての参考資料）

人権尊重の視点からの学校づくりと学力向上

全ての生徒に基礎的な知識・技能およびそれらを活用して問題を解決する力等を確実に身に付けさせ、自ら学び自ら考える力などの「確かな学力」を育むため、まずは学校・学級の中で、一人ひとりの存在や思いが大切にされるという環境が成立していなければならない。

異学年交流の具体的なメリット

● 自己肯定感の向上

異学年の子どもたちと交流することで、自分自身を見つめ直す機会ができる。また、年上の子どもたちと接することで自信が付き、自己肯定感が向上する。

● 社会性の向上

異学年の子どもたちと交流することで、違う年代の子どもたちと接する力が身に付く。また、コミュニケーション能力や協調性が向上する。

● 学習意欲の向上

異学年の子どもたちと学習することで、自分自身の学習に対する意欲が向上する。また、年上の子どもたちの学習意欲や勉強の仕方を見ることで、自分自身の学習方法を見直すきっかけにもなる。

● 友だち作りの機会の増量

異学年の子どもたちと学習することで、新しい友だちを作ることができる。異学年であることから、普段交流する機会が少ない子どもたちとも仲良くなることができる。

① ROSE タイムとは

R… Receive（知識を習得する）

O… Output（知識を伝える）

S… Student（生徒）

E… Energy（エネルギー）

・生徒同士で数学を教え合う時間。

・チューターは、「先生役」として数学を教える。

・リーダーは、全体の指示とタイムキーパーも兼ねる。

② 「ROSE タイム」……マンツーマン学習（家庭教師学習）

- 一対一で教えれば「どこが分かっており、どこが分からないのか」が本人は明確となり、学習がはかどる。
- 教える楽しさ・やればできるなどの自己肯定感の向上や学校内環境の安定化（互いを認める）ことが大切。
- 教え合い学習は学力向上につながる。「分かる」を実感することで主体的に学ぶ姿勢を身に付ける。
- コミトレで培った「話す」「聞く」力のさらなる定着を図り、「伝える力」を伸ばすことで将来役に立つ。
- 様々な問題に触れることで、思考力・判断力・表現力を養う。
- 先生役の生徒（チューター）は、知識をアウトプットすることで達成感を得ることができ、学習意欲の向上に繋がる。

③ 効率の良い勉強法……「ROSE タイム」

チューター側 ⇨ 「脳が情報を忘れない」という脳科学的にも効率の良い勉強法

① 能動的な学習になる

相手に教えるということが勉強の動機づけ（勉強する理由）になり、主体的に取り組む姿勢を作ってくれる

② 自分の理解度が分かる

「教える」という行動は、自分の理解不足な部分をはっきりと自覚させてくれる

ST 側 ⇨ 気軽に質問できる

- ① 気軽に質問できる環境のため、疑問を解消しやすい。これは、普段の授業に比べて質問のしやすさに関するメリットとなる。
- ② 普段の授業では、質問をするのはためられることもある。この勉強方法は、そのハードルを下げようになっている。

④ 「QU」の意義……「Q-U」を実施することで、把握できるのは以下の3つ。

1 個人についての情報

- (1) 一人ひとりの児童生徒の学級生活の満足感
- (2) 一人ひとりの児童生徒の学級生活の意欲

2 学級集団についての情報

- (1) 学級集団としての成熟の状態
- (2) 学級集団の雰囲気

3 学級集団における児童生徒の相対的位置

- (1) 学級生活の満足感に関する児童生徒の相対的位置
- (2) 学校生活の意欲に関する児童生徒の相対的位置

「QU」は生徒理解のための貴重な情報が詰まっており、結果を生徒にフィードバックすることが重要。その結果を分析して、必要な対応を検討する。対応策の検討では、学級担任が一人で行わず、児童生徒に関わる関係者（副担任や学年主任、教科担当者、教育相談担当者、養護教諭、スクールカウンセラー等）を交えて話し合う機会を設けて、検討会を実施するとより効果的。